

野口宇宙飛行士の

国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在搭乗の決定について

資料23-4-2
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
ISS・国際宇宙探査小委員会
(第23回) H30. 1. 19

- JAXAは、野口聡一宇宙飛行士を第62次／63次ISS長期滞在搭乗員とすることを決定し、2017年11月7日に発表した。
- 長期滞在期間は2019年終わり頃からおよそ半年間を予定し、ISSの各施設の維持・保全、科学実験、ISSロボットアーム操作等を実施する予定。
- 2017年11月末よりミッションに向けた訓練を開始予定。
- 宇宙飛行は今回で3回目。2005年にスペースシャトルでの宇宙飛行、2009年にISS長期滞在を経験。



野口聡一
JAXA宇宙飛行士(52歳)
過去の宇宙滞在期間:約176日



- 2003年のスペースシャトル事故後の再開フライトに搭乗



- 日本人初のソユーズ宇宙船フライトエンジニアとして、ソユーズ宇宙船に搭乗。
- 「きぼう」日本実験棟ロボットアームの子アーム取付けや実験運用などを実施。

